

令和4年度霞ヶ浦学講座実践編「霞ヶ浦のプランクトンを観察しよう！」実施報告案

実施日時：令和4年7月9日（土）13:30-15:30

集合場所：霞ヶ浦環境科学センター研修室 参加者数：15名

講師：中島良浩、鈴木隆志、久保谷秀明（霞ヶ浦環境科学センター）

概要

霞ヶ浦のプランクトンの観察方法を学習し、また、子どもたちに指導する上での留意点などを学びました。

1. プランクトンについての説明

プランクトンとは「水中や水面を漂い生きる」生物になります。大きく、植物プランクトンと動物プランクトンに分かれます。

2. 採水 プランクトンネットを用いて動物プランクトンを採集しました。

3. プレパラート作成

動物プランクトンはホールスライドガラスを用い、観察用プレパラートを作成しました。留意点として、スポイトで試水を少量吸う方法も学びました。

4. 動物プランクトン観察

顕微鏡を操作し（ステージを上下左右に動かし）、動物プランクトンを探し、観察しました。

5. 動物プランクトンの解説

ミジンコの体の特徴について学びました。

6. 植物プランクトン観察

植物プランクトンは、学習用にあらかじめ準備しているものを使用し、プレパラートを作成し、観察しました。ミジンコよりかなり小さく、探すのにとまどったかもしれません。

7. まとめ

食物連鎖、植物プランクトンと（栄）養分のお話、霞ヶ浦が汚れる原因などについて学習し、私たちの生活とプランクトンの関連を学びました。



学習の始まり



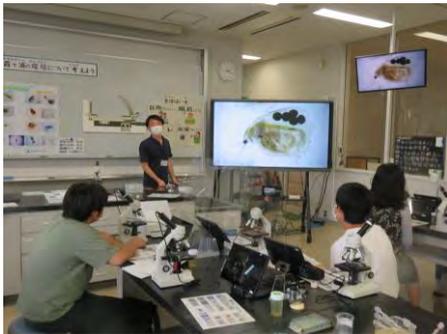
プランクトン採集中



プレパラートの作り方の説明



動物プランクトンを集めています



ミジンコの体の説明



植物プランクトンの説明

(文責 小川)